



国土交通省道路局長 様

城建第183号  
平成19年6月1日

熊本県下益城郡城南町長

八幡紀雄



中期的な計画の作成にあたっての意見 (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼があった意見を、別紙のと  
おり提出します。

## 意見書

1 国道266号は、熊本県南部地域から熊本市や県北部地域へのアクセス道路として、国道3号とともに幹線道路としての機能を担っている。

しかしながら、国道3号については4車線化対策等の効果があつて車両の流れもよくなり、交通の安全性も増してきたが、国道266号については交通の渋滞が益々慢性化し、特に城南町を通過する時間が予測できない状況にあり、利用者にとっては大きな問題であり交通の安全性も脅かされている。嘉島町に大規模商業施設ができてからは、土日曜日の渋滞はさらに酷くなり城南町町民にとっては大変迷惑な状態となった。

安全対策として国道266号の部分的改良は進んできているが、渋滞の抜本的解消までには至っていない。

そこで、国道266号の整備も進めながら、交通渋滞緩和策として交通量の分散を図るという点や、城南工業団地への企業誘致等経済効果も期待できるため、次のような施策が必要である。

### ① 主要地方道小川嘉島線の緑川架橋及び全線の整備促進

城南町は、北部を流れる一級河川緑川によって熊本市及び県北部地域との交通を制限され、特に国道266号上流には対岸に向けてのルートがなく地域の発展を阻害している。ここに橋梁が建設されれば熊本市や空港へのアクセス時間も短縮され、交通渋滞による通行時間の不確実さもなくなり、業務用車両や通勤車両も安全・安心な運行ができる。

また、区画整理事業による人口増に対しても対応でき、熊本市のベッドタウンとしての効果も大である。

### ② 九州縦貫自動車道のスマートインターチェンジ設置

IC設置によって企業等の輸送時間の短縮、遠距離輸送の利便性が増す。

2 町道の維持管理についても交通量の増加、橋梁や道路の老朽化等による維持費の増大で財政は逼迫し、十分な管理が難しくなっている。生活道路としての機能維持を図り、安全・安心な道路整備に努めるための財政支援が必要である。